学校教育目標　「自ら学び　心豊かに　たくましく生きる児童の育成」

学校だより　えのき　11月1日号

皆野町立皆野小学校　令和８年１１月１日　発行

小さな「気になる」から自主性を育む

校長　吉田　浩

皆野町では、「自分で考える力」や「学習習慣」を育むため、自主学習（自分で課題を決めて取り組む学習）ノートを作成し、その取り組みに力を入れています。これからの社会は今までの経験値だけでは解決できない「正解のない課題」に直面するといわれています。「想定外」の事態も含め、当面の課題にどうしたらよいかを「自分で考える力」や「行動する力」が必要だとされています。そのために、「自分に必要な学習は何か」「何に興味があるか」を自分で考えて行動する力をつけることが大切です。



目標は１日１P、年間５冊です。

その自学では、最初は何をやればいいかと悩む子も多いですが、「疑問に思ったことを調べる」「授業の復習をする」「好きなことを深掘りする」など、**小さな「気になる」**からスタートすることが大切です。ノートにも、学習のヒントが書かれていますので、参考にできるとよいと思います。

中には、自分の習い事についての考察や、スポーツのふり返りを書いている子どもたちもいます。自分の興味のあることなので、かなり深掘りされていて、見る方も勉強になります。やはり、自分の興味のあることは、自然に濃い内容になるようです。

ご家庭でも、「今日はこんなことに興味を持ったんだね」「昨日より丁寧に書けているね」といった前向きなコメントや、お声がけをしていただけると励みになります。　「できた・できない」だけでなく、取り組んだ過程や、挑戦した姿を認めていただくことが、次のモチベーションへとつながります。

そして、ノート一冊をやりきることで、「自己有用感の向上」にもつながります。校長室に終わった自学ノートを持ってくる児童の表情には「達成感」と「自信」が感じられます。実は、皆野小の子どもたちは「自分には良いところがある。」と考える割合がやや少ない状況にあります。自分に自信を持ち、主体的に学び、行動できるよう支援を続けていきたいと思います。

子どもたちが「学ぶ楽しさ」を実感し、「自ら学び　心豊かに　たくましく生きる児童」となれるよう、学校と家庭で温かく見守っていければと思います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。